



2015 年 3 月期 (第 17 期) 決算の概要等について

株式会社札幌ドーム(以下当社)は、本日開催の定時株主総会及びその後の取締役会におきまして、以下のとおり 2015 年 3 月期(第 17 期)の決算を報告するとともに、役員が選任され、それぞれ就任いたしましたのでお知らせいたします。

1. 2015 年 3 月期 (第 17 期) 決算概要

※百万円未満および 1 万人未満切り捨て

○売上高	36 億 77 百万円	(前期比 10.9%増)
○経常損失	4 億 54 百万円	(前期比 6 億 14 百万円減)
○当期純損失	4 億 27 百万円	(前期比 5 億 2 百万円減)
○総イベント開催日数	132 日	(前期比 2 日減)
○総利用日数(設営撤去等を含む)	262 日	(前期比 9 日減)
○稼働率	71.8%	(前期比 2.4 ポイント減)
○イベント来場者数	265 万人	(前期比 0.1%増)
○観光来場者・一般市民利用者ほか	12 万人	(前期比 1.6%減)
○総来場者数	278 万人	(前期比 0.02%減)

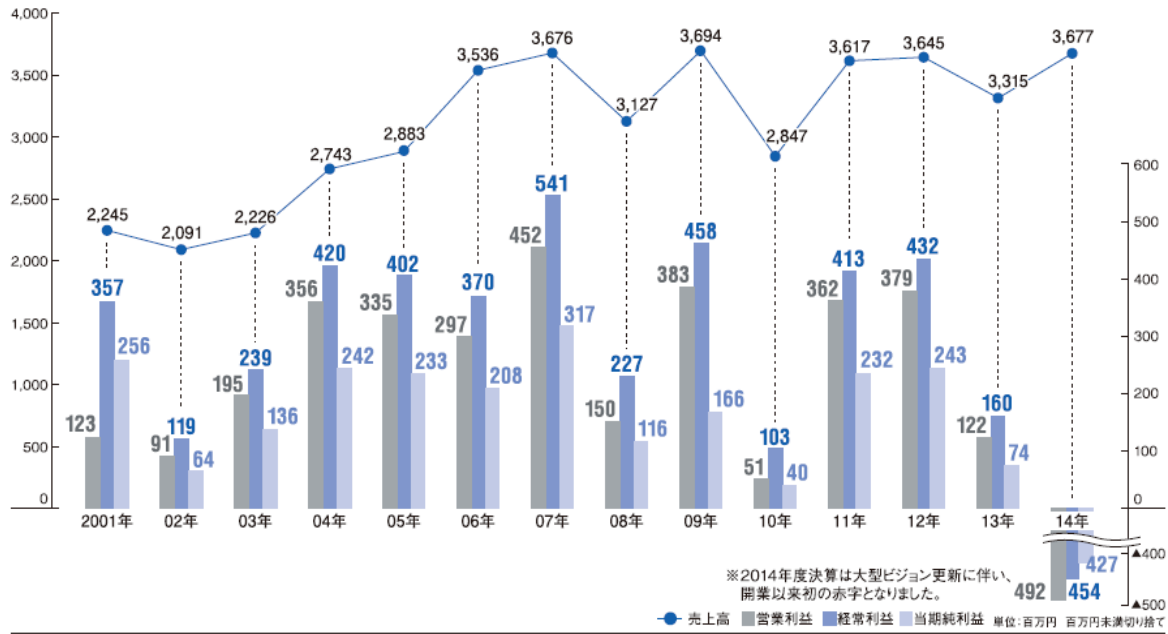
- ・プロ野球、プロサッカー、コンサートの来場者数増加に伴い貸館および商業事業が増収となり、売上高は前期を上回る 36 億 77 百万円となりました。しかしながら、大型映像設備更新に伴う 8 億 28 百万円の費用負担により、開業以来初の赤字決算となりました。
- ・プロサッカーでは、コンサドーレ札幌戦が前期から大きく増加し 17 試合となりましたが、前期開催されたビックエアや札幌モーターショー、中古車市がなかったことなどにより、総イベント開催日数は前期より減少しました。
- ・総来場者数は、総イベント開催日数が減少したものの、プロ野球の来場者数が前期を上回り、前期比 0.02%減に留まりました。
- ・「基幹業務システム更新」や、物販・飲食店舗で使用している「POS システム更新」など、総額 1 億 94 百万円の設備投資を行いました。
- ・「大型映像設備更新」「トイレの一部洋式化」など、施設の維持保全及び改良工事として総額 8 億 76 百万円の工事等を行い、その成果物を札幌市に寄付いたしました。
- ・剰余金の処分について
 - ①将来に渡る良好な施設設備の環境を維持するため、当社応分の費用負担に備え、「施設保全設備更新積立金」として 3 億円(前期の 6 倍)の積立てを実施します。
 - ②期末配当金として、1 株につき 1,000 円、総額 20 百万円の配当を実施します。

2. 役員一覧

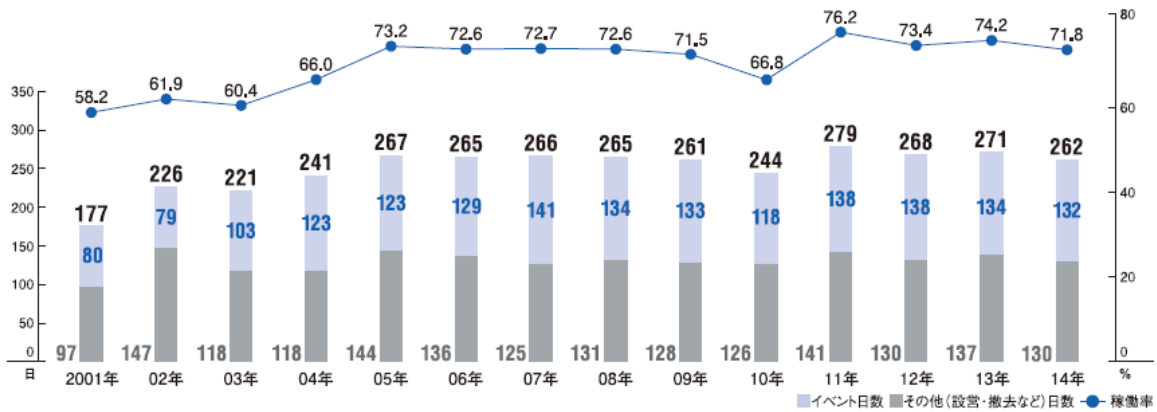
代表取締役社長	長 沼 修	
取締役副社長	町 田 隆 敏	(新任) 札幌市 副市長
代表取締役専務	島 津 貴 昭	
専務取締役	北 野 靖 尋	当社 事業本部長
取 締 役	荒 木 啓 文	札幌商工会議所 専務理事
同	山 田 範 保	北海道電力(株) 嘱託
同	土 谷 浩 昭	北海道瓦斯(株) 取締役常務執行役員
同	三 好 則 男	(株)北海道新聞社 専務取締役、総括
同	生 方 誠 司	(新任) サッポロビール(株)上席執行役員北海道本社代表 兼北海道本部長
同	井 上 幸 三	(株)電通北海道 代表取締役社長
常勤監査役	広 田 勝 信	札幌商工会議所 派遣
監 査 役	草 薨 金 矢	草薨金矢税理士事務所 所長
同	小 林 良 輔	(株)北洋銀行 常務執行役員公務金融部長

<参考資料>

■業績の推移



■利用日数および稼働率推移



■来場者数推移

